

2016年1月9日（土）

鍋割山（丹沢：1272m）

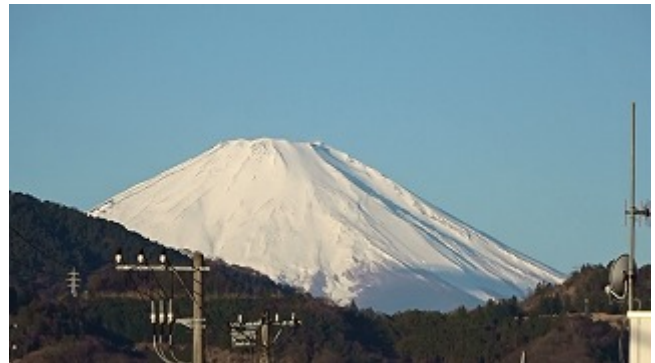
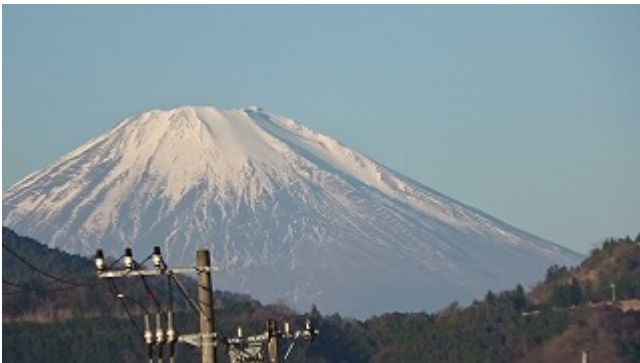
年初めの初登山は恒例「鍋割山に登って鍋焼うどんを食べよう」の企画に参加者したのは、川島さん、布目さんに、石井さん、根岸さん、能勢さん、堀さん、高橋文さん、吉松さんと久しぶりの鶴飼さんと熊本の10名。



渋沢駅 8:10 集合に合わせて小田急線で・・・
伊勢原付近から大山が右車窓の正面に見える。
積雪はない。



左写真は小田急線泰野～渋沢間で、右は JR 小田原近くの車窓から撮った富士山、今日も良く見える。



渋沢駅北口から撮った富士山（左:今年1月9日、右:昨年1月10日）で、ほぼ同時期の写真だが、降雪量が全く異なり、今年は暖冬で雪が少ないのが良く分かる。



渋沢駅 8:20 発の大倉行のバスを待つ



8:30 大倉バスに到着、今日は鶴飼さんの指導に合わせ準備体操で、体を解す。



登山準備を整えて 8:40 に大倉バス停を出発した。



バス停を出て、道路を渡り、まっすぐ住宅街に入り、鍋割山・二俣の方向の道を取る。
道路を渡らず右方向の道を取れば、大倉尾根から塔ノ岳への方向だ。



大倉住宅街の舗装道路を暫く歩くと
椿や他の草木の花・実が現れた



10 分ほど舗装道路を歩くと、杉・檜の樹林帯に入る。



10 分程で、西山林道に出ると所要時間を記した新しい標識が設置され（二股分岐まで 3.4 km 50 分）、左側には車通行止めのゲートが設置されていた（写真右）。
 帰りにここでトラブル発生し大騒ぎになった。



スタートから 20 分歩き、体が温まり、汗をかかない内に一枚脱ぎ体温調節する。特に冬場の山登りは、汗は要注意だ。



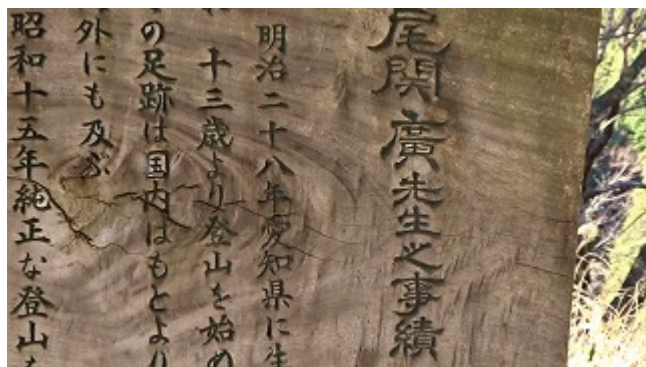
暫く林道を進むと、堀さんが手袋を忘れたかもしれないと、探したらポケットにあった。更に、ダウンの上から腕時計をしてそのままダウンを脱いでザックの外に括り付け歩いており、落下を心配したが、事なきを得てホットする。
今年の堀さんは慎重だ。



四十八瀬川に沿って約 1 時間、西山林道を歩く。
楽しめる景色や草花もなく、無駄だ、無駄だとボヤキながら・・・歩く



西山林道を 40 分ほど歩き、尾関像があるところで小休止を取る。(9:55)



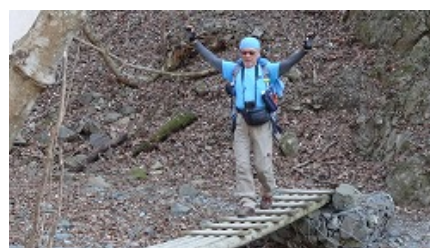
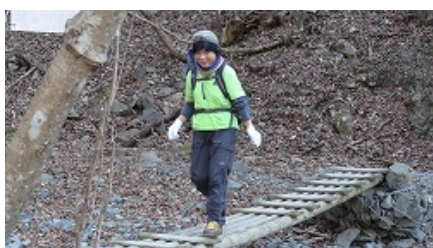
尾関 廣さんは、神奈川県山岳連盟会長（その後全日本山岳連会会長）として、丹沢国定公園園化運動を推進や登山訓練所等の設立に尽力された。



大倉を出発して1時間20分で二俣分岐に到着した（10:03）。鍋割山稜0地点だ。標識の下に「ヤマビル対策用の塩」が設置されていた。これも昨年来たときは無かった。丹沢のヤマビル被害は深刻のようで、夏季には当分登れない。



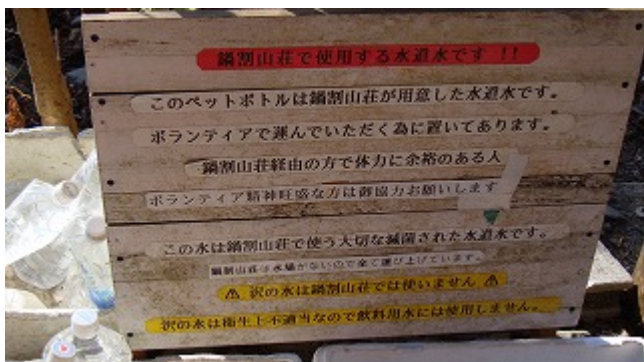
二俣は訓練所尾根（小丸・塔が岳へ）と後沢乗越（鍋割山へ）への分岐であり、我々は勘七の沢からの流れを渡り、後沢乗越へのコースを取る。



二俣から更に20分ほど歩き、今度は、本沢を渡り数分で水置き場に到着する



ペットボトルの水置場に到着（10:27）。沢水は飲料に適さず、水道水を殺菌し置いてある。



登山客がボランティアで山頂の鍋割山荘まで担ぎ上げる。

我々も余裕のある人は各自 2 リットルボトルをザックへいれる。70 歳代は勘弁してもらった。

（鍋割山稜 2）



ミズヒ沢を渡ると、いよいよ山道への登りが始まる。ここまで一番後方にいた川島さんが先頭にでる。



急登に取り付く



川島さんは快調なペースで登り続け、先頭で皆を引っ張る。



前方が明るくなり尾根が見えてきた。後沢乗越だ。



後沢乗越（鍋割山稜 5）ここで小休止を取る。（11:00）
ここから山頂までは急登尾根となり、各自ペースで登ることにした。



急登尾根に取り付き始め、徐々に脚力の差が出始め、石井さん、吉松さん、高橋文さんの健脚組が先頭を走り、次は能勢さん、堀さん、熊本の中級組が少し遅れ、更に鵜飼さん、根岸さん、布目さん、川島さんが遅れ始める。



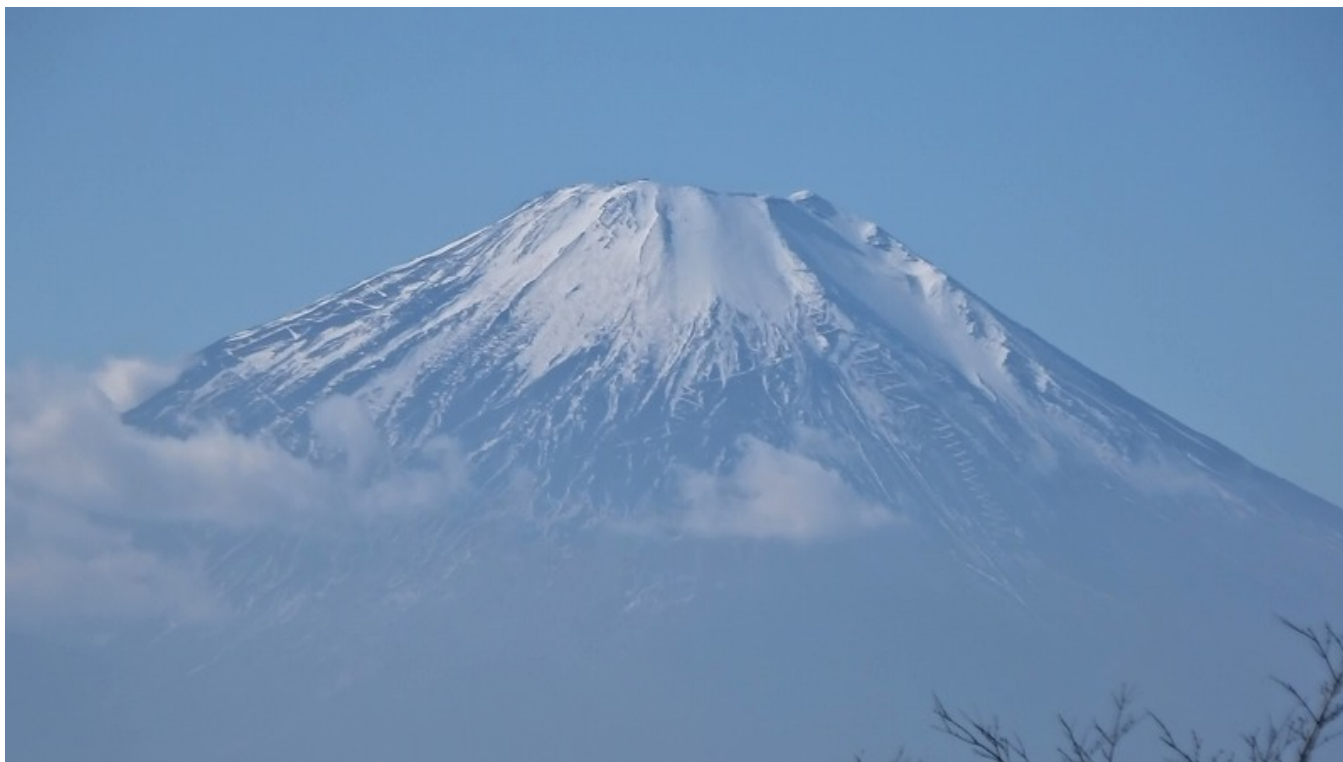
11:20 中級組は鍋割山稜 7 を通過、既に先頭を行く健脚組は見えない。



鍋割山稜 10 地点付近から見た富士山。鍋割山稜の番号は 10 までだが、合目とは異なり、山稜 10 から山頂までは更に高度を稼がねばならない。間違えやすく 10 番まで来て、山頂でないと判り、がっかりする。



太陽パネルが見えれば山頂だ。鍋割山稜 8 を過ぎると、例年は雪解け泥濘で足の置き場に困るほど難儀するが、今年は多少の霜溶けはあるが、殆ど泥濘は少なくスパッツも不要であった。



山頂登頂直前に撮った富士山



山頂の鍋割山荘に先頭健脚組 3 人は、
11:57 に到着。
13 分遅れて中級組 3 人が到着した。
他の 4 人はトレッキングツアー 30 人の後方
で更に遅れるであろう。



取りあえず、先に到着した 6 名で、
鍋焼きうどんを注文し、本年の初登頂を祝い
日本酒で乾杯！
その後数分で鵜飼さんが到着し鍋焼きうどんを 1 名追加しなおす。



我々7名のアツアツの鍋焼きうどんが出来上がった時、川島さん、布目さんが到着した。

それから、足が吊って遅れた根岸さんが数分後に到着し全員が揃った。

遅れた3名分を追加発注。出来上がる前に、登頂に集合写真を撮る。



雲海から頭を覗かせた富士山をバックに登頂記念の集合写真

この頃には雲がかなり出てきていた。



鍋割山荘を背景に集合写真



集合写真を撮り、遅れた 3 名のうどんがやっと出来、念願のあつあつを頬張り大満足。



遅れた 3 人を残し、他はゆっくりと
13:20 下山開始する。
予定より 20 分遅れである。



泥濘のない登山道を快適に下山



14:28 ミズヒ沢まで下りてきた。



先に下山した7名は、水置き場（鍋割山稜2）に14:33に到着し、暫く後続の3名を待ったが待ち人現れず、二俣分岐まで行くことにした。



二俣分岐で川島さん、布目さん、根岸さんが合流し、10名全員が揃った。

15:05 で当初計画より約30分の遅れだ。



二俣分岐から西山林道の約1時間は標高差約1000mを往復した足には辛い。

大倉バス停に16:15に到着したが、堀さん、根岸さん、川島さんがいつまで経っても現れない。堀さんから携帯に連絡が入った。後ろを歩いていた川島さんがいなくなったとので戻って探してみるとのこと。

暫くして問題の川島さんがバス停に現れた。堀さんに連絡しバス停に戻ってもらうことにした。

全員揃ったところで、堀さん、川島さん二人が、お互いが居なくなったと言いつついたが・・・原因は？



西山林道から車両通行止めのゲートの左手に大倉への表示がある。更にゲートには大倉バス停への表示もあり、ゲートの前で左折して杉・檜林への道が正しいのだが、川島さんは真つすぐゲートを超えて行ってしまったのだ。それでも大倉バス停には行けたから良かったが・・・



いろいろありましたが、全員揃って渋沢駅から小田急で鶴巻温泉へ移動。



15:20に鶴巻温泉の弘法の里湯へ入る



2016 年幕開け初登山を無事終了し、温泉で疲れを癒し、乾杯で締めくくりました。



入浴休憩後、小田急線登り電車に乗り、伊勢原、海老名、町田、新宿と散会しました。お疲れ様でした。